

中海会議 第7回幹事会【概要】

日 時 平成27年7月24日（金）
14:00～15:40
場 所 ホテル白鳥 鳳凰の間

開 会

【議事1】（要綱改正（案））説明：島根県政策企画監

資料により説明。

○島根県政策企画局長

特に意見がないようなので、中海会議の要綱改正案については、このまま本体会議に提案する。各部会・ワーキンググループの要綱改正については、幹事会で了解いただいたこととする。

【議事2】第6回中海会議への報告事項（案）について

（1）中海湖岸堤等整備に係る調整会議（説明：国交省出雲河川事務所長）

資料により説明。

○安来市副市長

短中期整備箇所の安来港は、背後に市街地を抱えているので、早急な対応をしていただきたいところ。短期整備箇所で、他の施設管理者との協議が必要な箇所ではかなりの期間を要しているところもある。安来港は、県の管理施設であるが、管理者との協議等についての見込みはいかがか。

○出雲河川事務所長

安来港については、協議に必要な準備がほとんどできつつあるので、関係者への協議を今年度早い段階で進めてまいりたい。

（2）中海の水質及び流動会議（説明：島根県環境政策課長）

資料により説明。

○米子市副市長

昨年度の中海会議において質問をさせていただき、森山堤防の一部開削の効果についてお答えをいただいている。昨年度は、森山堤防開削の影響は、現時点のモニタリングデータではなかなか読み取ることができないという説明であった。

現在もそうなのかなと想像はしているが、何らかの変化、評価に値するものがあったのかどうか、そうではなく、やはり昨年と同様の状況であるのかということについて、説明をお願いしたい。

○島根県環境政策課長

中海全体での水質測定結果から見ると、開削後は本庄工区において塩分躍層が発生しやすくなるかと、中海本湖と同様の傾向が出てきている。COD、全窒素、全リンという項目では、水質に特段の変化は見られていないという状況である。

○米子市副市長

6月に中海環境モニタリング検討ワーキンググループを設置されたこと、大変うれしく思っている。その中で、特に学識経験者3名の先生方の見解について期待をしている。私どもの観点というか、開削の因果関係というか、その辺の見解も含めて、このワーキンググループで評価できるとすればお願いをしたいというふうには思っているので、要望にかえさせていただきたい。

○島根県環境政策課長

モニタリングワーキングの趣旨は先ほど説明をしたとおり、より客観的に中海の水質の状況が把握できるような中海の水質モニタリングのあり方を検討するために設けている。学識経験者からは、水質や流動に関するモニタリングの妥当性の確認、また、現状の水質測定結果の評価の確認について意見を聞くことにしている。こういう趣旨に基づいて、より客観的に中海の水質の状況把握をしていく必要があるという観点から、これまでになかった新たな調査項目が必要となれば、所掌事務の中にも追加モニタリングの検討があるので、そうした対応になってくると思う。

○鳥取県生活環境部長

昨年度の中海会議の中で、全体の中のモニタリングについてもっとよく分析が必要なんじゃないかということでこのモニタリング委員会が設置になったかと思う。当然そこには開削の効果だけではなく、気象条件の変化とか、潮位とか、河川流入の効果とかも違ってきているので、そういう事態を見ながら、いろんな要素を見ながら、全体として中海の水質が何でこうなっているのかということ、専門家の方々から意見を聞こうという話だったかと思う。米子市さんはこのところの部分の部分を強調して言うておられるけれども、当然その開削の部分も含めて、こういった水質の変化であるとか水質への影響、効果、そういったものを、このモニタリング委員会で全体的に知見を得ていくという理解であるが、違うか。

○島根県環境政策課長

気象とかの自然現象とか、そういう周辺の社会とか産業活動もあると思うし、水質改善事業の効果もあると思う。また、流域からの流入負荷の影響など、さまざまな要因があると思う。そういう要因がさまざまあるんだということ踏まえながら、専門家の方々の御意見を伺っていくというふうに理解をしている。

○鳥取県生活環境部長

もう1点、中海会議に向かって準備願いたい。水質の部分で、幸いなことに、米子湾でもCODとか全リンがかなり改善してきている。ただ、ちょっと懸念するのが、全窒素は、今まで全体的にみて米子湾がかなり悪かったが、昨年度改善傾向を示しているけれども、N-1とか、そのあたりの落ちが鈍い感じがする。地点ごとの特徴点が何か説明できないか準備を願えたらありがたい。

○松江市副市長

中海の海藻、藻刈りについて、ぜひ進めていただければと思っているが、回収をすることから、資源化、利活用、市場開拓、流通というところ、これをぜひ流域全体で取り組んでいただきたい。今後の目標設定のところちょっと弱いのではないかなという印象があるので、両県連携事業の成果として、事業化といいますか、市場化できるように進めていただければと思う。

特に松江市の場合は、宍道湖、それから堀川とか天神川とか、藻刈りが日常的な課題となっており、松江市で藻刈り船を配備したり、また、市内の業者に技術開発支援の補助をして藻刈り船を開発することもやっており、一部貸し出しもしているので、関心があれば、御相談いただければと思う。

○鳥取県元気づくり総本部長

流動発生装置の実証事業について、7月から10月まで実証試験を行うことになっているが、11月の中海会議に、ある程度の方向性が出るのか。

○鳥取県生活環境部長

最終的な予算組みをどうしていくかとか、そんなところまでは自信がないが、少なくとも実証試験が済んでいるので、どういう状況であったとか、どういう流動の状況があったとか、そのあたりは中海会議で報告をさせていただきたいと認識をしている。

○島根県環境政策課長

1点修正させていただきたい。先ほど鳥取県生活環境部長からの御質問で私が答えた最後のところについて、さまざまな要因があるということ踏まえて、水質変化の兆候を把握していくためにもモニタリングの継続をしていくんですよ、ということをお答えをさせていただきたい。

○島根県政策企画局長

ワーキングにおいて本体会議までに調整をしていただく等で対応をお願いしたい。

(3) 中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ（説明：米子市農林課長）

資料により説明。

質問・意見等

特になし。

(4) 中海の利活用に関するワーキンググループ（説明：鳥取県元気づくり総本部広域連携課長）

資料により説明。

○鳥取県元気づくり総本部長

中海の利活用について、(中海会議がスタートした)6年前の環境と現在と、少し環境の変化があるのかなと思っている。資料も少しバージョンアップをする時期に来ているのかなと思っている。11月の中海会議までに行われる取り組みも多々あるので、そういったものも含めながら、今度の中海

会議の場では、この資料を加筆修正させていただいたものでお話しできたらなというふうに思っている。

それと、現在、観光庁の広域観光周遊ルートの認定について、鳥取、島根でスクラムを組んで、追加認定に向けた取り組みをやるようにしており、11月の中海会議に向けて、その状況を見て、この取り組みも加えることができたらなと考えているので、幹事の皆様の御了解をいただければと思っている。

○島根県政策企画局長

ほかに意見がないようなので、本日いただいたいろいろな意見を踏まえ、それぞれ各部会、ワーキンググループに持ち帰り、資料修正等を行って、再度取りまとめた上で中海会議本体会議に報告するというところでよろしく願います。

【議事3】第6回中海会議の開催（案）について（説明：島根県政策企画監）

資料により説明。

○島根県政策企画局長

特に意見はないようなので、事務局案で進めさせていただく。

【議事4】その他

○安来市副市長

中海ふれあい公園整備事業について、資料に基づき情報提供。

閉会